



平成 19 年 9 月 10 日

各 位

会社名 サイボウズ株式会社  
本店所在地 東京都文京区後楽一丁目 4 番14号  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 西端 慶久  
(コード番号 4 7 7 6 東証第一部)  
問い合わせ先 執行役員 経営管理本部長 石井 和彦  
電話番号 0 3 - 5 8 0 5 - 9 0 3 5 (代表)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 19 年 6 月 11 日に公表した平成 20 年 1 月期（平成 19 年 2 月 1 日～平成 20 年 1 月 31 日）の個別業績予想、および中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、連結の通期業績予想に変更はございません。

### 記

1. 平成 20 年 1 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 19 年 2 月 1 日 ～ 平成 19 年 7 月 31 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,800	—	380	130
今 回 修 正 予 想 (B)	5,847	451	433	25
増 減 額 (B-A)	47	—	53	▲105
増 減 率 (%)	0.8%	—	13.9%	▲80.8%
(ご参考) 前期 (平成 19 年 1 月期中間) 実績	4,594	349	290	57

2. 平成 20 年 1 月期中間個別業績予想数値の修正（平成 19 年 2 月 1 日 ～ 平成 19 年 7 月 31 日）  
(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,950	—	560	340
今 回 修 正 予 想 (B)	2,007	691	692	155
増 減 額 (B-A)	57	—	132	▲185
増 減 率 (%)	2.9%	—	23.6%	▲54.4%
(ご参考) 前期 (平成 19 年 1 月期中間) 実績	1,863	409	404	228

3. 平成20年1月期個別業績予想数値の修正（平成19年2月1日～平成20年1月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,800	—	760	450
今回修正予想(B)	3,900	960	950	400
増減額(B-A)	100	—	190	▲50
増減率(%)	2.6%	—	25.0%	▲11.1%
(ご参考) 前期(平成19年1月期中間)実績	3,678	766	768	372

4. 修正の理由

中間期の個別業績に関しましては、売上は、前回修正予想を57百万円程度上回り、2,007百万円となる予定です。売上増加の主たる要因は、当中間期において、主力製品のひとつである「サイボウズ ガルーン2」の新規のユーザーライセンスの売上が、大企業、中堅企業向けに予想より堅調であったこと、また既存顧客への年間継続ライセンスに該当するサービスライセンス売上が、堅調に推移したことがあげられます。

また、経常利益は、売上の増加に加え、広告宣伝費を下期に重点的に配分する方針に変更したことにより、前回修正予想を132百万円上回り692百万円となる見込みです。一方、レカム株式会社の株式の市場価格が、中間期末において、取得原価より50%超下落していること等から、投資有価証券評価損が特別損失に220百万円程度発生すること、及び子会社株式の評価を実施し、関係会社投資損失引当金を216百万円計上する見込みであることから、中間純利益は185百万円減少し、155百万円となる見込みです。

一方、中間期の連結業績に関しましては、売上は、個別の売上が増加することを主因とし、47百万円増加し、5,847百万円となる見込みでございます。

また、経常利益は、個別の経常利益が予想を上回るものの、連結子会社の利益が予想を下回ったため、経常利益は修正予想を53百万円上回る433百万円となる見込みです。また、レカム株式会社の投資有価証券評価損等が特別損失に220百万円程度発生することから、中間純利益は105百万円減の25百万円となる見込みです。

なお、個別の関係会社投資損失引当金は連結業績には影響ございません。

また、通期の個別業績に関しては、足許の業績を踏まえ、売上高は、期初予想を100百万円上回る3,900百万円、営業利益は960百万円、経常利益は期初予想を190百万円上回り950百万円、当期純利益は、50百万円下回る400百万円に修正いたします。なお、連結の通期予想は、変更ございません。

なお、中間期の決算発表は9月11日を予定しております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

以上